

**概要** 新潟県見附市における幼稚園型認定こども園において、現行の耐震基準を満たすよう、施設の建替を実施。震度5強を観測した令和6年能登半島地震においても、被害は生じず平時通りの運営ができた。

**対策名** 23-1社会福祉施設等の耐災害性強化対策(耐震化対策)<5か年加速化対策>【こども家庭庁】

- 実施主体:新潟県見附市
- 実施場所:新潟県見附市
- 事業概要:幼稚園型認定こども園つぐみ幼稚園において、大規模地震による被害を未然に防止するため、現行の耐震基準を満たすよう、施設の建替を実施し、耐震機能の向上を図った。

※工法として杭頭半剛接構法(F.T.Pile構法)を採用。

- 事業費:約5億円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
耐震化整備事業	施設の建替	約5億円	R3
うち5か年加速化対策	施設の建替	約5億円の内数	R3

- 効果

令和6年能登半島地震では見附市で震度5強を観測したが、当該施設においては被害は生じず、児童及び職員の生命・身体の安全の確保について効果を発揮することができた。また、旧耐震基準である近隣の保育所を当該認定こども園へ集約することにより、当該保育所を利用していた児童の安全の確保にも寄与した。

対策前



対策後



(参考) 当該施設利用児童数(令和6年1月時点)約60人  
 児童福祉施設等の耐震化率(令和2年3月時点) 92.6%(全国計)  
 社会福祉施設等の耐震化率の目標値95.2%(R7)